

遠3  
2378  
94

堀川歌女猿皮 全六冊

柳亭種彦作

柗川重信画 書肆永壽堂梓

文化甲戌春

前編上冊

娘丹霞 堀川歌女猿皮 全六冊

それ繪草紙の昔口調さる程。さふゆもはほふ縁ある戯作者  
あも三本さるね小子が流行を知らざれを。浮世をさるる故おしく。  
いっさふこそよかえとさる人はいひはきほど。生れはほふ猿智ある母。  
猿皮はし種とてさるは顔の赤本をさるる。意馬心猿の馬喰町  
永壽堂よあそふ。是を山王の檮木舟のげせ。賣れもさるる。本数  
三万の字二十部。ちよとといさる堀川さるる。さるる。さるる。

文化十年癸酉冬稿成  
同十一年甲戌春發販

柳亭種彦誌





駒手娘  
霞



傳兵衛の継母  
駒手



櫻路の  
内君  
雲井の方

侍女  
横笛

瀧口の後室  
貞哥

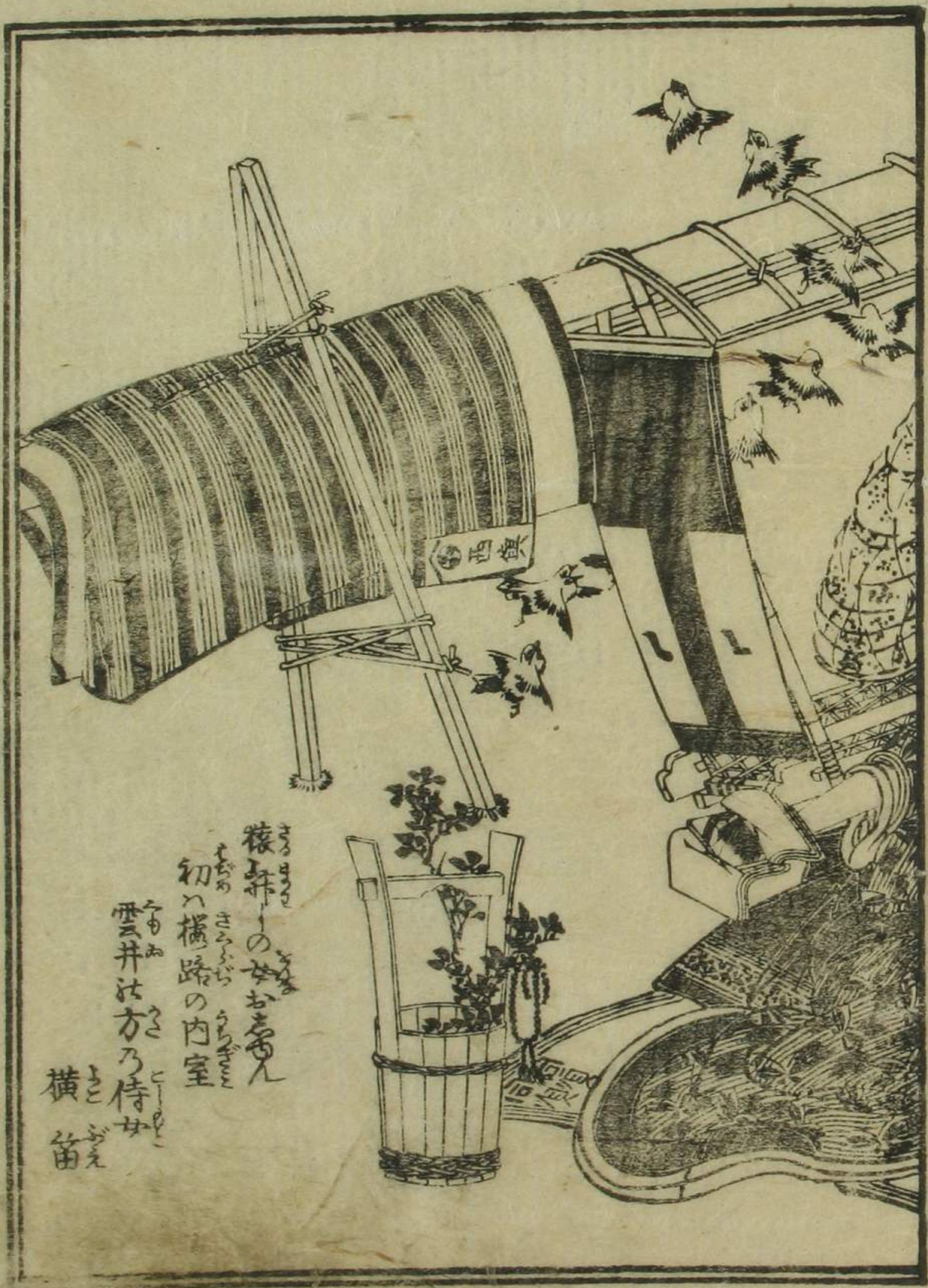


孝の終日思  
親を至期疾  
免番快樂賢  
女後賢眉

標齋

河内國  
橋路錦之助  
國氏

國氏の倉從  
滝口  
古雅之丞



猿井の女おきん  
 初ハ横路の内室  
 雲井は方乃侍女  
 横笛



不斷橋の侍兵備初ハ  
 徒を即身  
 こがのトモ  
 古雅之照

橋路の近臣  
滝口綾太郎

化能通  
蝶亭

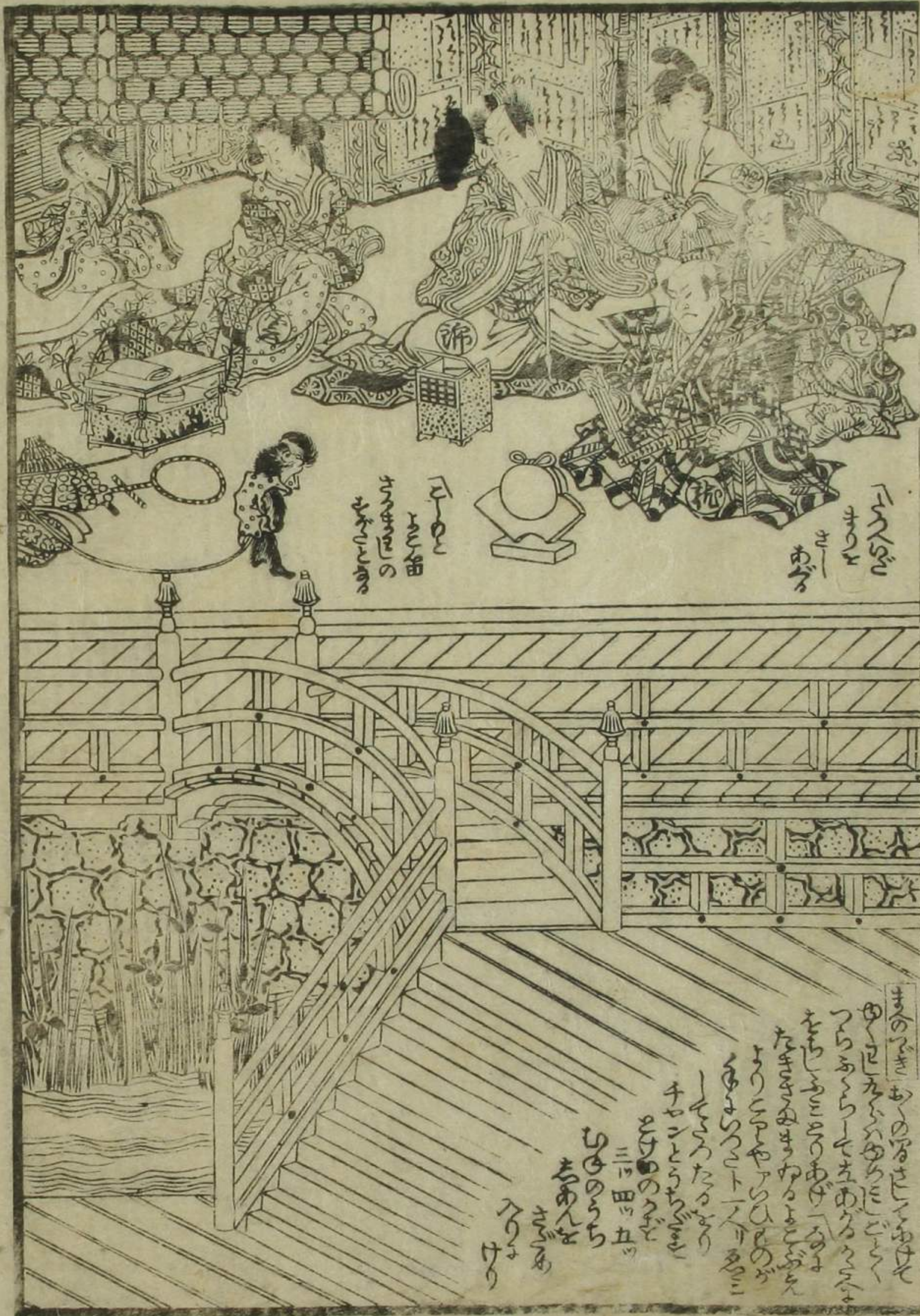
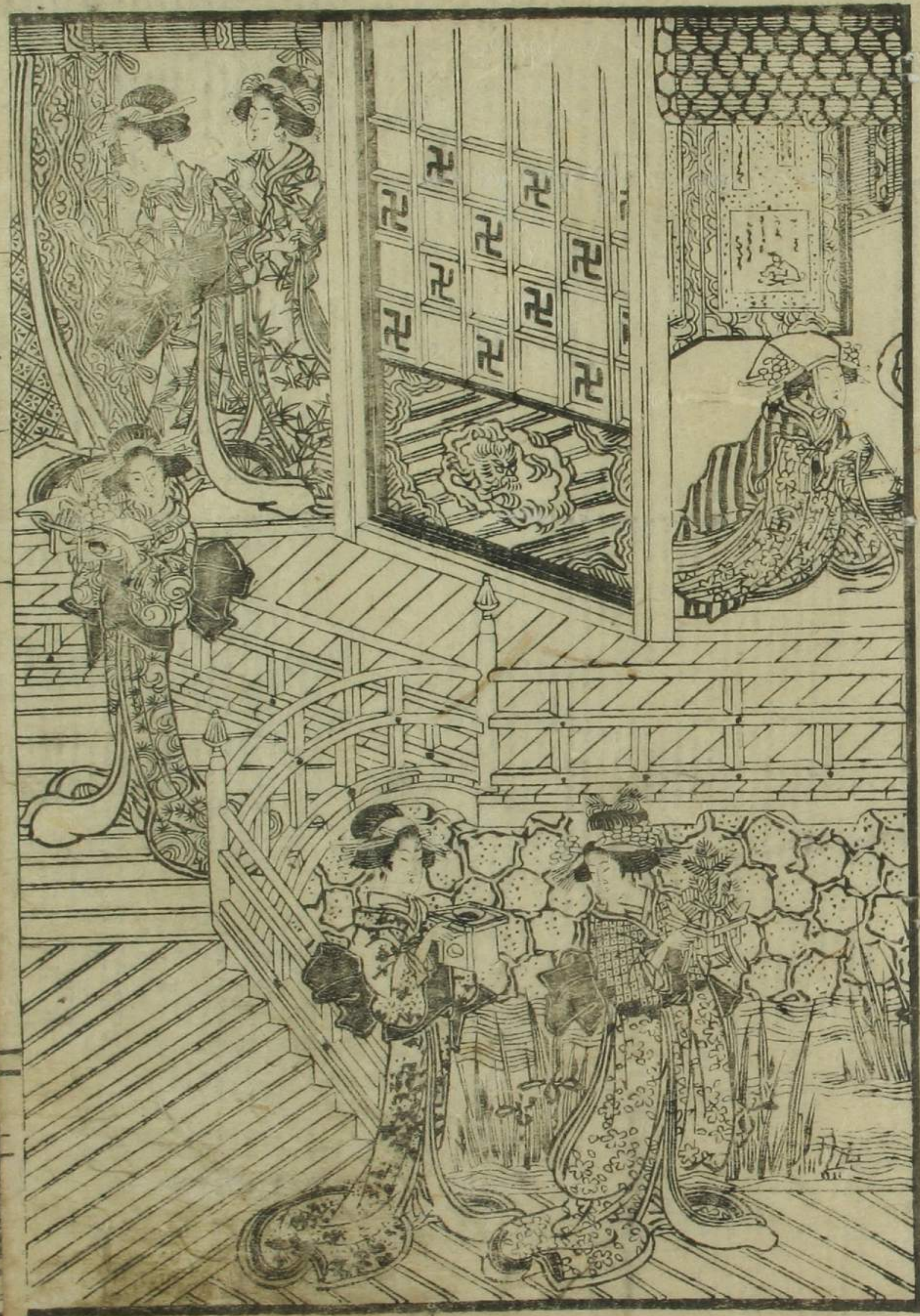


熊川  
鷺九郎



熊川鷺九郎下部  
琴太郎



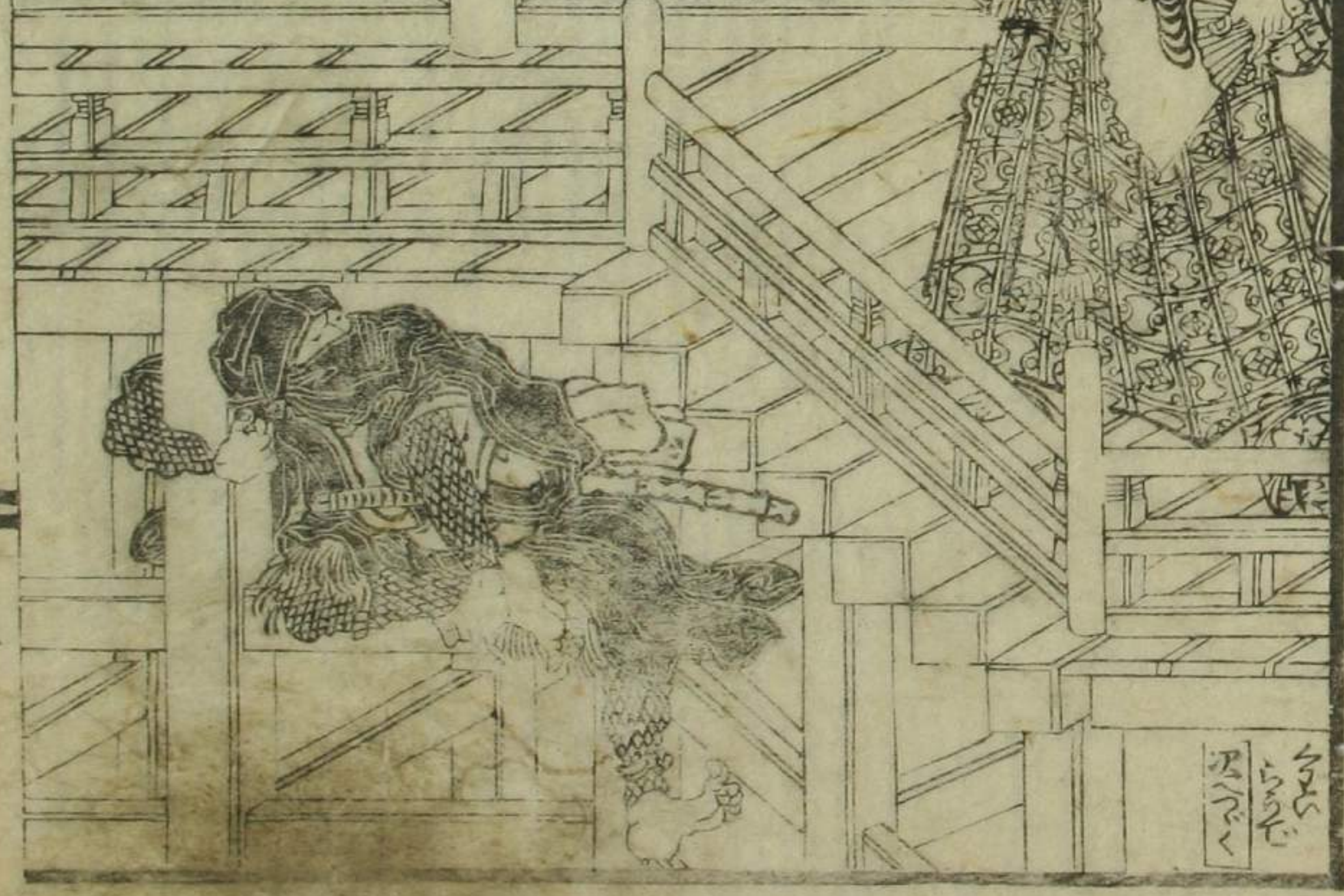




奉掛御宝前



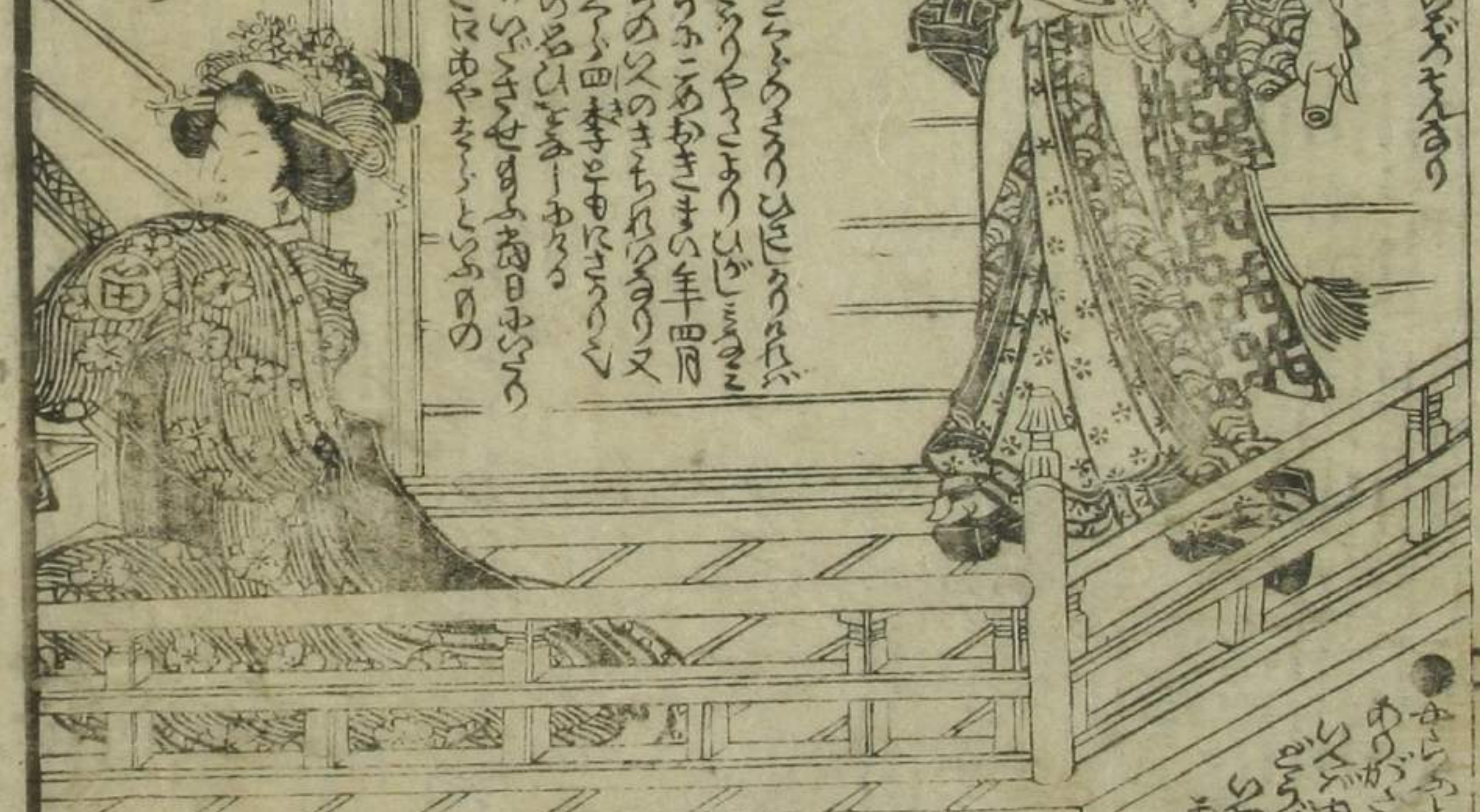
Handwritten text in the upper left section, including the characters '虎' and '奉掛御宝前'.



Small handwritten text at the bottom right of the left page.



Large block of handwritten text in the upper right section, including the characters '奉掛御宝前'.



Small handwritten text at the bottom right of the right page.









大正十四年十一月二十五日  
 午後七時三十分  
 本邦銀行  
 貸付金  
 一、〇〇〇〇〇〇〇円  
 支取金  
 一〇〇〇〇〇〇〇円  
 残高  
 一〇〇〇〇〇〇〇円  
 昭和十四年十二月三十日  
 午後七時三十分  
 本邦銀行  
 貸付金  
 一、〇〇〇〇〇〇〇円  
 支取金  
 一〇〇〇〇〇〇〇円  
 残高  
 一〇〇〇〇〇〇〇円



大正十四年十一月二十五日  
 午後七時三十分  
 本邦銀行  
 貸付金  
 一、〇〇〇〇〇〇〇円  
 支取金  
 一〇〇〇〇〇〇〇円  
 残高  
 一〇〇〇〇〇〇〇円  
 昭和十四年十二月三十日  
 午後七時三十分  
 本邦銀行  
 貸付金  
 一、〇〇〇〇〇〇〇円  
 支取金  
 一〇〇〇〇〇〇〇円  
 残高  
 一〇〇〇〇〇〇〇円



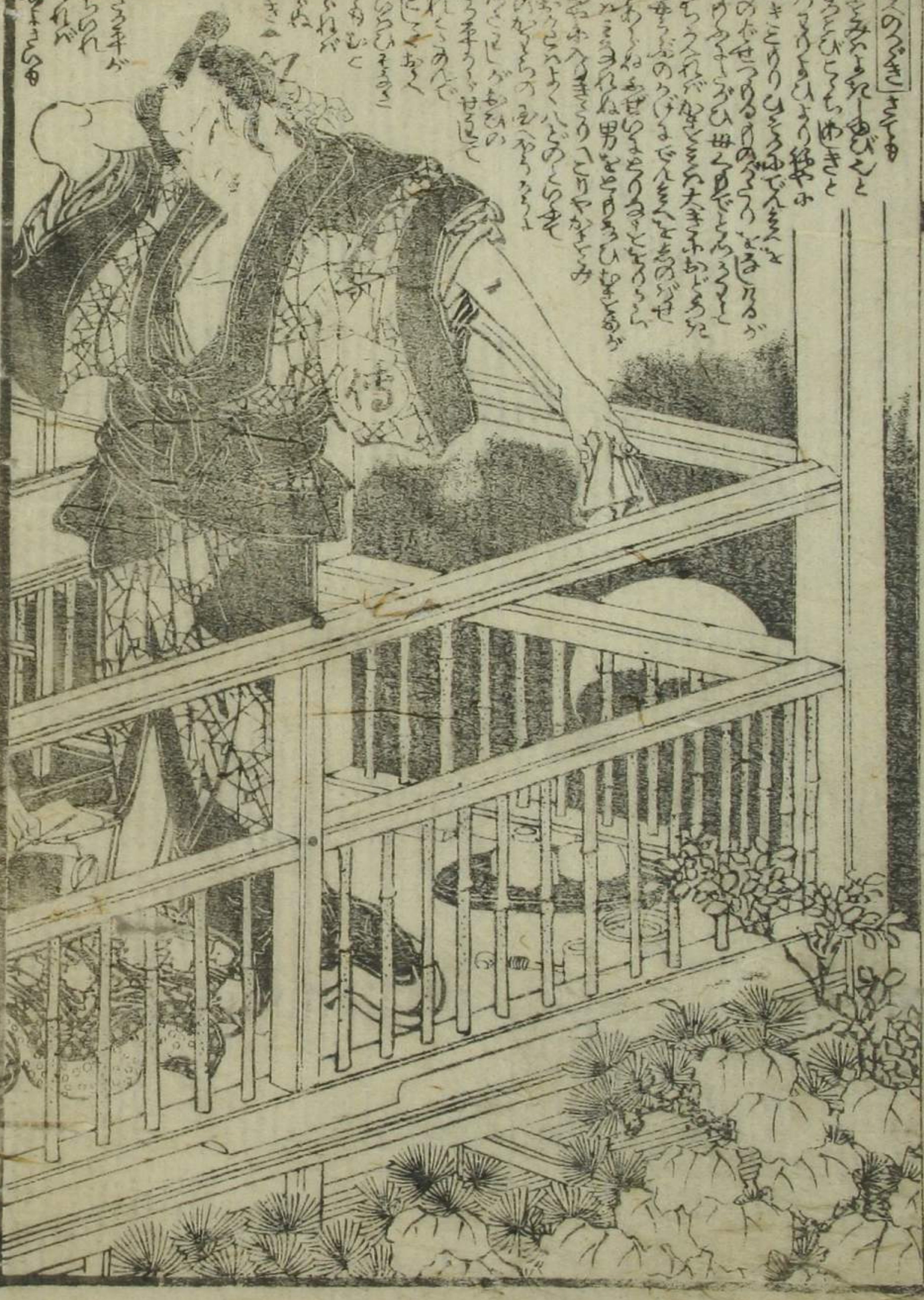




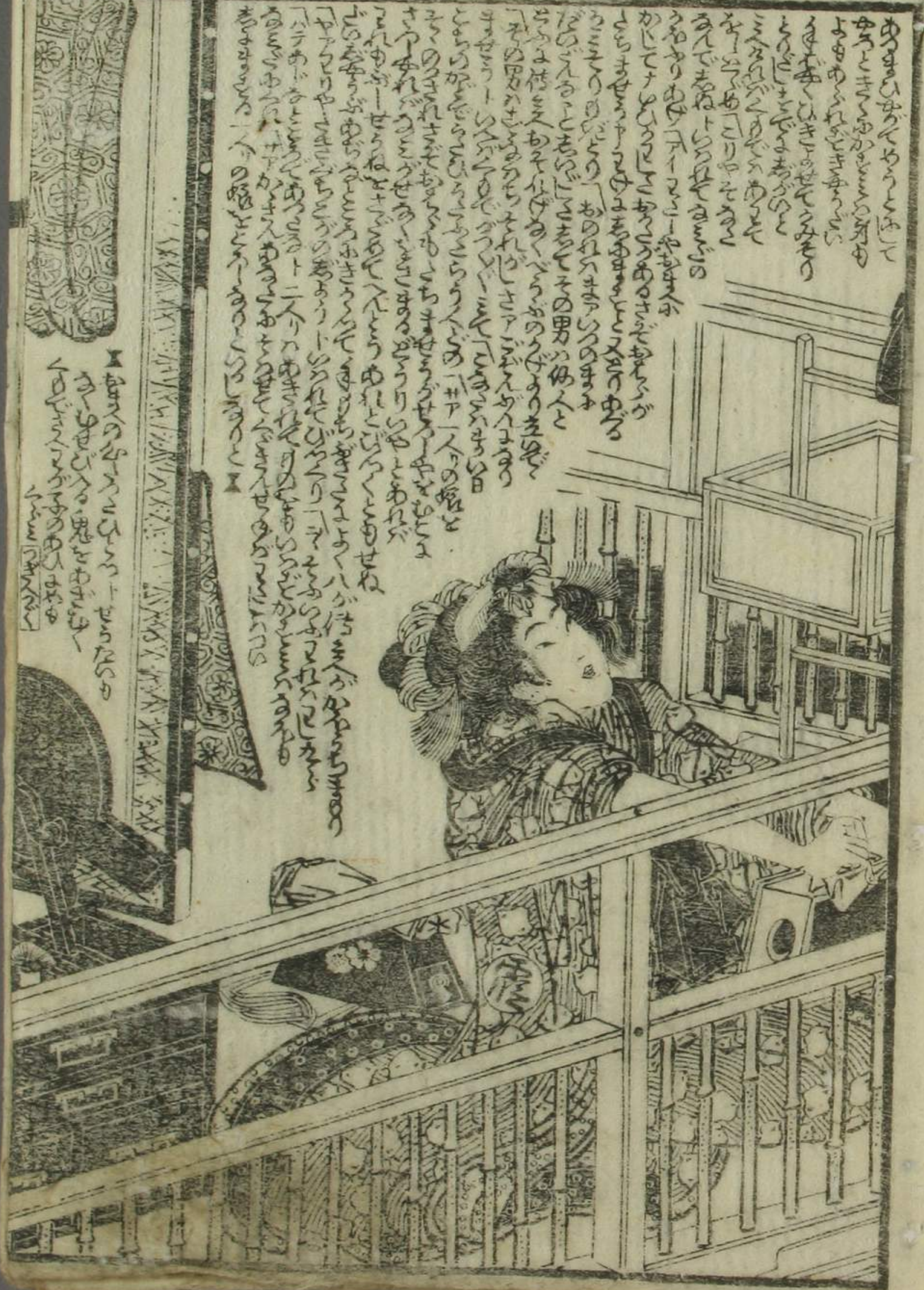




此の物語は、  
 昔の事なれど、  
 世に傳へて  
 名残ありて  
 人の心を  
 動かす所なり  
 其の由り  
 知る事  
 能はず  
 今も  
 昔も  
 人の心  
 動かす所なり  
 其の由り  
 知る事  
 能はず  
 今も  
 昔も



此の物語は、  
 昔の事なれど、  
 世に傳へて  
 名残ありて  
 人の心を  
 動かす所なり  
 其の由り  
 知る事  
 能はず  
 今も  
 昔も  
 人の心  
 動かす所なり  
 其の由り  
 知る事  
 能はず  
 今も  
 昔も





名は  
 おつと  
 あり  
 ます  
 名を  
 かくし  
 たり  
 あり  
 ます  
 あり  
 ます

あり  
 ます



名は  
 おつと  
 あり  
 ます  
 名を  
 かくし  
 たり  
 あり  
 ます

あり  
 ます

あり  
 ます

あり  
 ます



あり  
 ます

あり  
 ます

あり  
 ます



The first page of text is written in a vertical column on the left side of the page. It begins with the characters "The first page" and continues with several lines of dense, handwritten text in a cursive script. The text appears to be a commentary or a list of items related to the illustration.



The first page

The first page

The second page of text is written in a vertical column on the left side of the page. It begins with the characters "The second page" and continues with several lines of dense, handwritten text in a cursive script. The text appears to be a commentary or a list of items related to the illustration.



The third page of text is written in a vertical column on the left side of the page. It begins with the characters "The third page" and continues with several lines of dense, handwritten text in a cursive script. The text appears to be a commentary or a list of items related to the illustration.



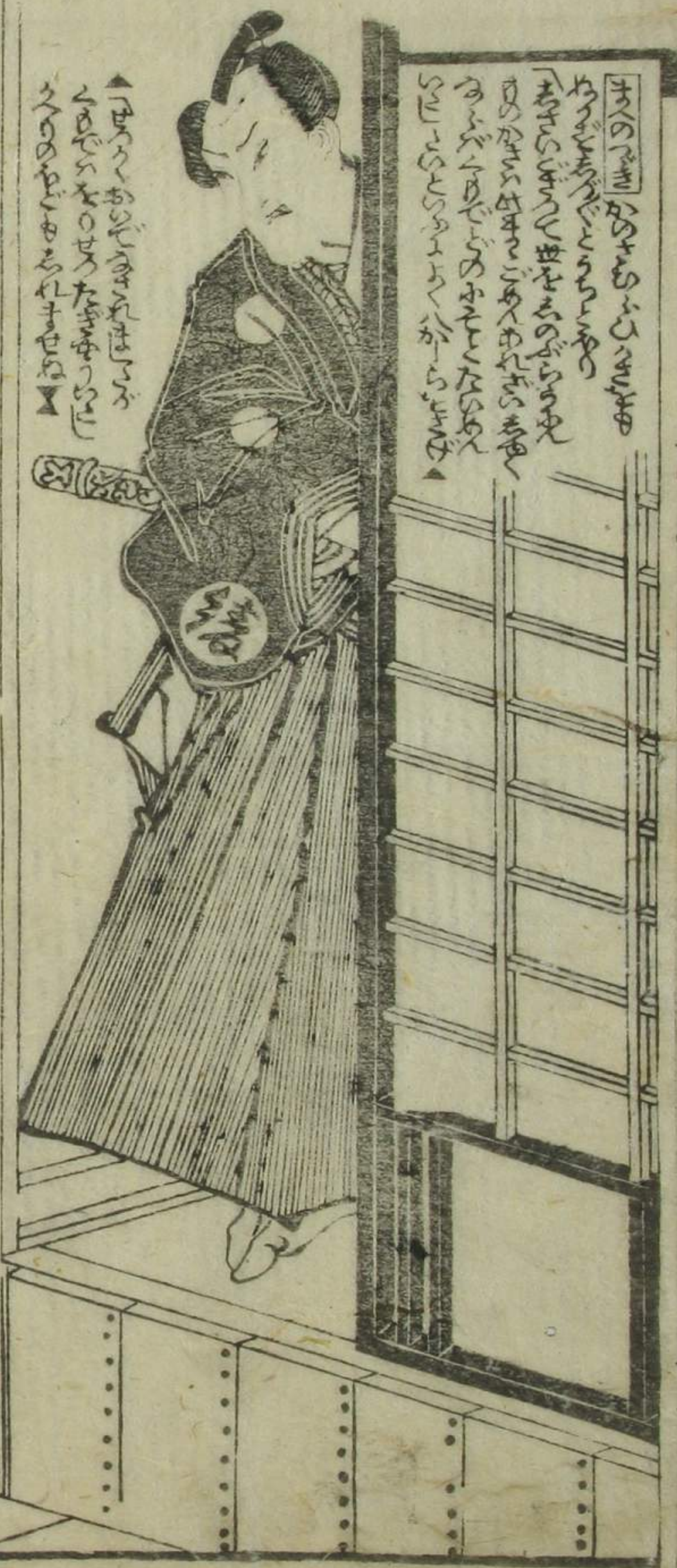
The third page





此の僧は行者の  
 木像の  
 十六羅漢の  
 蓮堂の  
 行者の  
 木像の  
 十六羅漢の  
 蓮堂の

此の僧は行者の  
 木像の  
 十六羅漢の  
 蓮堂の  
 行者の  
 木像の  
 十六羅漢の  
 蓮堂の



此の僧は行者の  
 木像の  
 十六羅漢の  
 蓮堂の  
 行者の  
 木像の  
 十六羅漢の  
 蓮堂の

此の僧は行者の  
 木像の  
 十六羅漢の  
 蓮堂の  
 行者の  
 木像の  
 十六羅漢の  
 蓮堂の





たけくら... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす...



たけくら... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす...

たけくら... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす...



たけくら... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす... 今又これが矢の根をばす... 矢の根をばす...

Handwritten Japanese text in vertical columns at the top of the page.

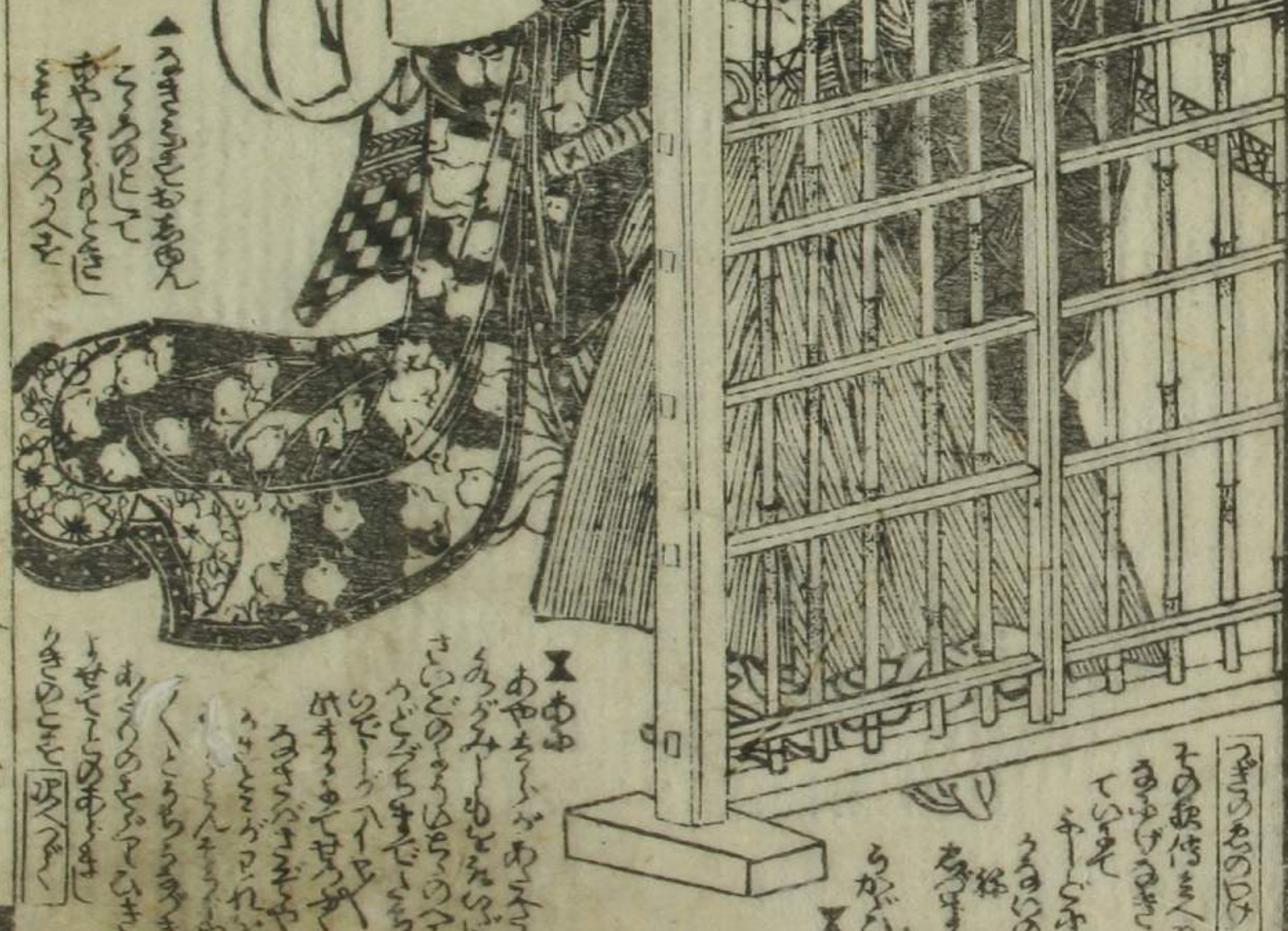


Handwritten Japanese text in vertical columns on the left side of the page.



Small handwritten text block at the bottom left of the illustration.

五の巻のつきは... けしきもあつても... 妻のあつても... 木の上へ登りて... 聖徳太子の... 聖徳太子の... 聖徳太子の... 聖徳太子の...



あやかし... 妻のあつても... 木の上へ登りて... 聖徳太子の... 聖徳太子の... 聖徳太子の... 聖徳太子の...

甲の巻のつきは... けしきもあつても... 妻のあつても... 木の上へ登りて... 聖徳太子の... 聖徳太子の... 聖徳太子の... 聖徳太子の...



あやかし... 妻のあつても... 木の上へ登りて... 聖徳太子の... 聖徳太子の... 聖徳太子の... 聖徳太子の...



Handwritten text in the top left corner of the page, likely a title or introductory note.

Main body of handwritten text on the right page, arranged in columns and surrounding the illustration.

Handwritten text in the top left corner of the left page, likely a title or introductory note.



Small handwritten text or label located below the top-left text on the left page.

Handwritten text in the bottom left corner of the left page, possibly a signature or a note.



かしらに  
 しつたびる  
 ちのりせう  
 いしりのま  
 とせせき  
 いれらら  
 のろのろ  
 てしゆわ  
 らちのし  
 らるのし  
 かしらに  
 のろのろ  
 いれらら  
 のろのろ  
 てしゆわ  
 らちのし  
 らるのし  
 かしらに  
 のろのろ  
 いれらら  
 のろのろ  
 てしゆわ  
 らちのし  
 らるのし

かしらに  
 しつたびる  
 ちのりせう  
 いしりのま  
 とせせき  
 いれらら  
 のろのろ  
 てしゆわ  
 らちのし  
 らるのし  
 かしらに  
 のろのろ  
 いれらら  
 のろのろ  
 てしゆわ  
 らちのし  
 らるのし



権柄  
 尊者

たつらの矢の根やぎや  
 ちのりせう  
 いしりのま  
 とせせき  
 いれらら  
 のろのろ  
 てしゆわ  
 らちのし  
 らるのし



かしらに  
 しつたびる  
 ちのりせう  
 いしりのま  
 とせせき  
 いれらら  
 のろのろ  
 てしゆわ  
 らちのし  
 らるのし



柳亭種彦作



柳川重信画



○此の書は、柳川重信の筆で、  
 村西松風の今やうとまはる  
 雲井の方ふまはるを  
 〇此の書は、柳川重信の筆で、  
 村西松風の今やうとまはる  
 雲井の方ふまはるを

東都書肆永壽堂藏板目錄 馬場町西村屋與八

式子内親王御集 清水濱屋之校 大和本全一册

和漢朗詠集 平家附 九札入 大和本全三册

新益古拙揃 兩點附 九札入 大和本全一册

花墨新選古拙揃萬年藏 平家何 〇此の書は、柳川重信の筆で、  
 村西松風の今やうとまはる  
 雲井の方ふまはるを

長雄流通俗文章 平家何 〇此の書は、柳川重信の筆で、  
 村西松風の今やうとまはる  
 雲井の方ふまはるを

同増補通俗文章全一册 長雄東雲男 〇此の書は、柳川重信の筆で、  
 村西松風の今やうとまはる  
 雲井の方ふまはるを

御家流手紙之文言 中本一册 〇此の書は、柳川重信の筆で、  
 村西松風の今やうとまはる  
 雲井の方ふまはるを



